

## 〈小学校 国語 解説〉

### 設問 1-1

#### 1 解説

##### 趣旨

事実と意見とを区別し、筋道の通った文章となるように文章全体の構成を考えることができるかどうかをみる。

##### ■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。

##### 解答類型

問題番号		解答類型	正答
1-1	1	1 と解答しているもの	
	2	2 と解答しているもの	
	3	3 と解答しているもの	◎
	4	4 と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

#### 2 学習指導に当たって

- 伝えたいことを筋道の通った文章で伝えるために、文章全体の構成や展開を考えることができるようにする

筋道の通った文章とは、相手に分かりやすく伝わるように、伝えたいことや知らせたいことを明確にし、首尾一貫した展開となるよう、論の進め方に注意して組み立てた文章のことである。筋道の通った文章にするためには、第1学年及び第2学年で取り上げた「事柄の順序」に沿った構成や、第3学年及び第4学年で取り上げた「書く内容の中心を明確に」した構成を工夫することに加え、例えば、「考えと理由や事例」「原因と結果」「疑問と解決」等のつながりや配列を意識して文章全体の筋道を整えていくことが大切である。

学習指導に当たっては、文章全体の構成を考える際に、それぞれの段落の内容としてどのようなことを書けばよいのかを考えたり、自分の考えを一貫して述べたりすることなどに注意したりすることが大切である。また、書き出しに読み手の関心を喚起する事例や全体の概略を配置したり、終結部に全体のまとめを書いたりして、読み手が考えを理解しやすいように書き方を工夫することも考えられる。その際、例えば、〔知識及び技能〕の(1)カの「話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴」と関連付けて指導することも有効である。

設問 1 二

1 解説

趣旨

目的や意図に応じ、資料を使って書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

解答類型

問題番号	解答類型	正答
1 二	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>(a) イカウのいずれかの資料を選んでいる。</p> <p>(b) 選んだ資料を使う目的について、資料に合った内容を書いている。</p> <p>(c) 35字以内で書いている。</p>	
	<p>(正答例)</p> <p>選んだ資料 イ</p> <p>目的 地下水が地元の人に利用されている場所の様子を分かりやすく伝えるため。(34字)</p> <p>※本文中の「飲み水や中には野菜などを洗う水としても、地元の人に利用されています」の部分をより詳しくするためという趣旨であれば可。</p> <p>(別解)</p> <p>選んだ資料 ウ</p> <p>目的 全国の名水百選に選ばれている県内八か所の名水の場所を知らせるため。(33字)</p> <p>※本文中の「富山県は、全国の名水百選に八か所が選ばれており」の部分をより詳しくするためという趣旨であれば可。</p>	
	1 条件(a)、(b)、(c)を満たしているもの	◎
	2 条件(a)、(b)は満たしているが、条件(c)は満たしていないもの	
3 条件(a)は満たしているが、条件(b)は満たしていないもの		
	<p>* 条件(c)を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>選んだ資料 イ</p>	

		目的 全国に認められた富山のおいしい水の様子を分かりやすく知らせるため。(33字) 選んだ資料 ウ 目的 富山県の名水の多くがわき水であることを分かりやすく知らせるため。(32字)	
99		上記以外の解答	
0		無解答	

## 2 学習指導に当たって

### ○ 図表やグラフ等を用いて効果的に書くことができるようにする

図表やグラフを用いるのは、示すべき事実が、図解したり、表形式やグラフ形式で表したりする方が分かりやすい場合である。観察や実験、調査の結果等の事実の記述は、図表やグラフを用いる方が、自分にとっても考えを深めやすく、読み手にとってもよく理解できるものとなる。図表やグラフの特徴を知った上で目的に応じて適切な図表やグラフを作成したり、本や文章から引用して用いたりすることができるようになることが大切である。

学習指導に当たっては、図表やグラフが用いられている教材文を扱う学習において、図表やグラフを用いた筆者の目的やその効果を捉えながら、自分の表現に生かすことができるようにすることが考えられる。また、実際に報告したり説明したりする文章を書く学習において、より分かりやすくするためにどのような図表やグラフを用いるのがよいかなど、ふさわしいものを考えるように習慣付けることが大切である。

### 設問 1三

#### 1 解説

##### 趣旨

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるかどうかをみる。

##### ■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

#### 解答類型

問題番号	解答類型	正答
------	------	----

1	三	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>(a) 「2 調べて分かったこと」の(2)と(3)の両方から言葉や文を取り上げて書いている。</p> <p>(b) 書き出しの言葉に続けて、60字以上、80字以内にまとめて、文末の言葉につながるように書いている。</p>	
		<p>(正答例)</p> <p>(「また、富山の水がきれいでおいしい理由は、」以下、この書き出しの言葉は省略する。)</p> <p>・川が急流なのでいつも水がきれいな状態であり、さらに、川や地表からしみこんだ水が地そうですら過され、地下水が地中のミネラルをきゅうしゅうするからだ(71字)</p> <p>(「と分かりました。」)以下、この文末の言葉は省略する。</p> <p>※① (2)からは「川が急流で水をいつもきれいな状態にすること」、(3)からは「大地が水をろ過すること」「地下水がミネラルを吸収しておいしくなること」の両方またはいずれかが書いてあること。</p> <p>② 文末が「～から(だ)」となっていること</p> <p>以上の①②を満たすものであれば可。</p>	
	1	条件(a)、(b)を満たしているもの	◎
	2	条件(a)は満たしているが、条件(b)は満たしていないもの	
	3	<p>条件(a)の、「2 調べて分かったこと」の(2)からのみ、分かったことについて言葉や文を取り上げて書いているもの</p> <p>* 条件(b)を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>・富山県の代表的な河川は、全国各地の大河川や外国の河川と比べると急流で、川の水はと中でよごれることが少なく、いつもきれいな状態であるからだ(68字)</p>	
4	<p>条件(a)の、「2 調べて分かったこと」の(3)からのみ、分かったことについて言葉や文を取り上げて書いているもの</p> <p>* 条件(b)を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>・川や地表からしみこんだ水は、地そうですら過されてきれいになり、地下水が地下をゆっくりと流れ、地中のミネラルをきゅうしゅうしながらおいしくなるからだ(72字)</p>		
5	条件(a)の、「2 調べて分かったこと」の(2)や(3)から、富山の水がきれいでおいしい理由以外の内容について言葉や文を取り上げて書いて		

		いるもの ＊ 条件(b)を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ・富山県の代表的な河川は、全国各地の大河川や外国の河川と比べると、急流で、富山平野は、水がしみこみやすい花こう岩などの地そうからできているからだ (71字)	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

## 2 学習指導に当たって

### ○ 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるようにする

自分の考えが相手に伝わるように書くためには、事実と考えとを区別して書いたり、理由を明確にして自分の考えをまとめたりすることが大切である。その際、文章の種類や特徴を踏まえて書くことが重要である。

本問のような調べたことを報告する文章では、調べた結果から自分がどのような考えをもったかを述べることになる。その際、調べて分かった事実が自分の考えを支える理由や事例となる。これを踏まえ、より説得力をもって自分の考えを伝えるためには、調べて分かった事実の中からふさわしいものを取り上げ、自分の考えとの関係性を十分に捉えて書くことが重要である。また、調べた目的と、調べた結果に基づく自分の考えとがずれることのないように書くことが大切である。

文章全体の構成を踏まえて書くことも重要である。調べたことを報告する文章は「調査の目的や方法」「調査の結果とそこから考えたこと」などで構成し、内容を書き分けるという特徴をもつ。このような文章全体の構成に即して、自分の考えの理由を明確にして書くことが大切である。

### 設問 1 四

#### 1 解説

##### 趣旨

文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における内容

〔第3学年及び第4学年〕 知識及び技能

##### (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

カ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。

## 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
1	四	1	1 と解答しているもの	
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

## 2 学習指導に当たって

### ○ 修飾と被修飾との関係について理解する

修飾と被修飾との関係に気を付けて、文の構成を理解することは、自分の思いや考えをより適切に表現する上で重要であることに気付くことができるようにすることが大切である。

本設問では、「すぐに」が「流れこむ」という動きを表す語句を詳しくしていることを捉えることが求められる。

学習指導に当たっては、修飾語には動きを表す語句を詳しくする場合と、ものや人等を詳しくする場合があることを理解できるようにすることが大切である。そのためには、修飾語を加えて文を詳しくしたり、修飾語がどの語句を詳しくしているのかをはっきりさせたりすることを指導すると効果的である。また、修飾語は直前や直後の語句を詳しくすると捉えてしまうことがあるため、離れた語句を修飾する場合もあることを理解できるようにすることも必要である。